

わせて利用者、エステティシャンが実際に使用する化粧品品の調査、それらの皮膚安全性の検討には早急な対策が望まれる。

D. 考察

エステティシャン養成施設に関する調査で、現在の養成施設ではフェイシャルやボディのスキンケア、リラクゼーションをサロンで行うための教育に主眼がおかれていることが分かった。しかし、スキンケアやリラクゼーション目的の教育であったとしても、養成施設の事情等で教育時間数にかなりの差があった。と同時に、必要と思われる基礎理論の教育カリキュラムは整っているものの、それらの教育内容そのものは十分とはいえない。

教育時間数が短く、教えるべき教科数が増えれば、必然的にその内容は浅くなり、専門知識の修得が十分にできるとは考えにくいからである。

また、教育に使用する教材については、ほとんどが日本エステティック協会発行のテキストを使用している。テキストとして利用できる他の教材が非常に少ない点も基礎教育や専門教育が充実しない原因である。

しかし、教材の選択肢が増えれば、それぞれのエステティシャン養成施設が特徴を明確に打ち出し、より専門的な教育を模索できるきっかけになると思われる。現状のままでは、サロンの多様化する営業種目に適応できるエステティシャン育成にはなりにくく、結果として消費者危害を未然に防ぐという課題は残したままになると思われる。

さらに、知識・理論よりも技術修得を重視する教育傾向が強く、技術さえ出来ればいいといった、安易な即戦力エステティシャン育成の姿勢には疑問を感じる。こうした背景には、サロン側が“すぐにお金の稼げるエステティシャン”の雇用を優先する傾向が根強く残っていることも否定できない。

サロン現場においても同様の傾向が顕著で、エステティシャンがお客様の肌をきちんと見極め、適正なサービスの提供が可能になるような専門知識の充実に投資するよりも、早く技術を覚えさせたいといった姿勢が強い。

フランスでは、初級レベルのエステティシャン資格を取得するために、2年間の教育を受け、さらに筆記試験、口頭試験、実技試験に合格した者だけがエステティシャンとしてサロンで就業できる。

わずか300時間、あるいはもっと少ない教育時間数でエステティシャンとして就業できるわが国の現状を鑑みると、エステティックサービスによる消費者への身体危害の防止という課題は、なかなか克服しきれないように思われる。

E. 結論

エステティシャン養成施設で就学中の学生たちは、エステティシャンとしての大きな夢を持ちながら日々学業に勤しみ、次代の業界を担っていく存在である。アンケートの回答を見る限り、エステティシャンとして将来成功するためにも、専門的な知識を幅広く身につけておきたいという姿勢を示している。

エステティックサロンで提供する施術

は、人の皮膚に触るために学習しておかなければならない専門知識に裏打ちされてこそ、適正かつ安全に提供できるものとする。

スキンケアやリラクゼーションに限定したエステティシャン養成施設での教育時間の問題もあるが、専門知識を学ぶべき教材の少なさ、教育する人材の質等は一考を要する。教材が整備されれば、養成施設以外での教育、自己学習も可能となり、専門知識の修得に役立つものとする。

今回の調査で得られた「エステティシャン養成」に関わるさまざまな問題点や課題を踏まえつつ、今後、医師などの専門家の協力を得ながら、エステティックサービスの範囲、それに合致した基礎教育カリキュラムづくりや専門知識を高める教材の整備が、消費者への身体危害防止に向けて早急に着手しなければならない課題とする。

エステティシャン養成施設訪問先報告書

1. 学校法人 日章学苑 鹿児島城西高等学校
2. 学校法人 山野学苑 山野美容芸術短期大学
3. 滝川エステティック学院 東京本校
4. 学校法人 国際共立学園 国際理容美容専門学校
5. 学校法人 古武学園 高津理容美容専門学校
6. 関西ビューティ・プロフェッショナルスクール
7. ミス・パリ エステティックスクール 大阪校
8. 国際フランス・エステティック学院東京校
9. 日本脱毛技術学院神戸校

※日本エステティック協会 認定校一覧
(運営母体別103校)

エステティシャン養成施設訪問先報告書

訪問先	学校法人 日章学苑 鹿児島城西高等学校
住所	鹿児島県日置郡伊集院町清藤 1938
TEL	099-273-1234
面談者	宝 富元副校長ほか 4名
学校の種別	私立高等学校
所属団体	日本エステティック協会（認定校）

■エステティシャン養成コースについて

平成 14 年 4 月、商業科に「トータルエステティックコース」を設ける。

■定員および入学資格

1 学年 40 名（女子のみ）。中卒以上

■教育カリキュラム

日本エステティック協会の認定エステティシャン養成カリキュラムに準ずる。

【理論課程＝150 時間】

・エステティック概論	4 時間
・皮膚科学	25 時間
・化粧品学	12 時間
・生理解剖学	25 時間
・大脳生理学（心理学）	20 時間
・美容電気学	10 時間
・栄養学	10 時間
・関連法規	4 時間
・接客マナー	4 時間
・職業倫理、サロン経営	4 時間
・衛生、消毒	4 時間
・美学、色彩、造形	2 時間
・カウンセリング	4 時間
・諸施術、法に関する理論	10 時間

【技術課程＝150 時間】

・フェイシャル	70 時間
・ボディ	50 時間
・脱毛（ワックス）	5 時間
・その他選択科目	25 時間

■使用教材

日本エステティック協会発行の標準エステティック学4巻。

■取得単位数

3年間で普通教科（＝国語、地理・歴史、公民、数学、理科、保険体育、芸術、外国語、家庭）とは別に、専門教科の中にエステティック理論（150時間）、エステティック実習（150時間）。

■指導者（講師）

日本エステティック協会 認定資格保持者

■養成の目標

卒業時に日本エステティック協会認定エステティシャン資格を取得する。

■エステティシャン養成にかかわる設備

専門のエステティック実習室があり、フェイシャルベッド、フェイシャル機器、消毒設備等がある。実技は、生徒が相モデルになり、ベッド1台を2名で使用。

■その他

同校は、創立75周年の記念事業として新学科の設立を目的に、地元中学校に通う3年生を対象にアンケートを実施。美容（エステ、メイク等）を学びたいという希望が多かったことで、トータルエステティックコースを設立（普通高校としては全国で初めて）。今年の体験入学には、昨年より100名ほど多い300名が参加。現在、同県出身の生徒54名がエステティシャンを目指して就学中。

エステティシャン養成コースを立ち上げるに当たり、資格制度がない業界だけに、生徒を指導する人材探しが一番苦労した。将来的には、同校にある別の社会福祉科（介護福祉士国家資格取得を目標として昭和62年に新設）と連動させることも視野に入れている。

卒業後の進路等に関しては、平成16年3月に第一期の卒業生が誕生するため実績はないが、いくつかのエステティックサロンからの求人はすでにある。

訪問先	学校法人 山野学苑 山野美容芸術短期大学
住所	東京都八王子市金鍵水530
TEL	0426-77-0111
面談者	山野正義学長ほか5名
学校の種別	私立短期大学
所属団体	なし

■エステティシャン養成コースについて

平成8年に新設された美容保健学科の中でエステティックを指導。

■定員および入学資格

1 学年 130 名（男女）。高卒以上

■教育カリキュラム（エステティック関連抜粋）

心身の健康美の理論と技術を修得する

【必修科目理論＝360 時間】

・健康美容論	22.5 時間
・公衆衛生学	22.5 時間
・皮膚科学 I	22.5 時間
・皮膚科学 II	45.0 時間
・解剖学	22.5 時間
・栄養学	22.5 時間
・健康運動 I	22.5 時間
・感染症学	45.0 時間
・衛生管理技術	45.0 時間
・化粧品科学	45.0 時間
・生理学	45.0 時間

【選択科目理論＝270 時間】

・健康運動論 I	22.5 時間
・健康運動論 II	45.0 時間
・健康管理論	22.5 時間
・健康運動 II	22.5 時間
・健康運動 III	45.0 時間
・カウンセリング	22.5 時間
・加齢と健康	45.0 時間
・母子保護	45.0 時間

【必修科目実技＝150 時間】

・美容実習 VI（特殊技術）	22.5 時間
----------------	---------

【選択科目実技＝150 時間】

- ・全身美容 45.0 時間

【その他】

- ・海外研修（ヨーロッパ）

■使用教材

社団法人理美容教育センター発行のテキスト。エステティック技術マニュアルはオリジナル。

■取得単位数

2年間で85単位以上。

■指導者（講師）

医師、栄養士、美容師等の国家資格保持者及びエステティック講師

■養成の目標

美容師国家試験合格を最大の教育目標とし、エステティックサービスの提供できる美容師を育てている。

■エステティシャン養成にかかわる設備

専門のエステティック実習室には、フェイシャルベッド、フェイシャル機器、消毒設備等が配置されている。

■その他

エステティックサービスの提供できる美容師の育成を行っているが、現状では、美容室のエステティック導入率は1割程度。美容師の国家資格取得をベースにした教育を行っているので、美容師として最低限必要な知識は教えている。エステティックには、そうした最低限学ぶべきことすら徹底されていない。エステティシャンという資格制度ではなく、美容師法の拡大解釈で、美容師が全身美容まで行えるように法が改正されれば、知識レベルは最低限統一される。

現在、1年生167名（女子159名、男子8名）、2年生159名（女子149名、男子10名）が美容保健学科に就学中。

訪問先	滝川エステティック学院 東京本校
住所	東京都台東区三筋2-24-8
TEL	03-5820-8877
面談者	遠藤康彦部長ほか1名
学校の種別	エステティック専門校
所属団体	日本エステティック協会 (CIDESCO 国際認定校)

■エステティシャン養成コースについて

CIDESCO 国際免許(世界 33 カ国共通ライセンス)を取得するための全日制1年間(1200時間以上)の教育を実施している。平成13年4月CIDESCO 国際認定校になる。その他、本科、専科、通信教育、短期特別コースなどを実施している。

■定員および入学資格

1年コースの定員は40名。高卒以上。

■教育カリキュラム (シデスコインターナショナル エステティシャン養成科)

【理論=346時間】

・エステティック概論	4時間	・皮膚科学	43時間
・皮膚病理学	8時間	・栄養学	24時間
・大脳生理学	23時間	・化粧品学	29時間
・生理解剖学	31時間	・美容電気学	21時間
・衛生管理学	6時間	・微生物学	8時間
・色彩学	6時間	・カウンセリング概論	27時間
・サロン経営学	9時間	・接客マナー	22時間
・東洋医学	8時間	・英会話	6時間
・試験対策	25時間	・ホームルーム	28時間
・期末テスト	18時間		

【実技=872時間】

・フェイシャル基礎	70時間	・フェイシャル応用	94時間
・フェイシャルテクニック総合	80時間	・カウンセリング実技	38時間
・ボディテクニック基礎	65時間	・マシーンテクニック	70時間
・ボディテクニック応用	71時間	・ボディテクニック総合	64時間
・デピレーション	37時間	・フットトリートメント	24時間
・ネイルトリートメント	47時間	・メイクアップ	78時間
・モニター実習	42時間	・美容電気脱毛	28時間
・華道	4時間	・実技テスト	42時間
・卒業制作	18時間		

【その他＝48時間】

- ・ 課外授業必須科目（サロン見学、特別セミナーほか） 30時間
- ・ 課外授業選択科目（タラソセラピー海外研修ツアーor タラソセラピー国内研修）
18時間

■使用教材

日本エステティック協会発行の標準エステティック学4巻とオリジナルテキストの併用。

■取得単位数

1年間で1278単位。

■指導者（講師）

医師、栄養士等の国家資格保持者及び研究者、CIDESCO 認定インターナショナルエステティシャンほか。

■養成の目標

CIDESCO 国際免許（シデスコインターナショナルエステティシャン）の資格取得試験合格を目的とした人材の養成。

■エステティシャン養成にかかわる設備

エステティック総合商社が運営するこの養成施設は、9階建てビルすべてがエステティシャン養成施設になっている。実技教室のある各フロアには、消毒室が設けられており、衛生設備も充実している。

■その他

1年コースは11年前から導入。卒業前には、モニター（登録された消費者）を使っての実習、卒業論文（1万字程度）を義務付けている。また、期末テストの成績によっては、補習、追試なども行い、卒業時の生徒のレベル向上を図っている。

エステティシャンの養成に関してスタンダードがない現在、専門的な理論教育に関しては、外部講師（医師、栄養士、研究者等）を積極的に活用し、教育施設としての質の向上を行っている。

卒業後の進路は、100%エステティック関係に就職。

訪問先	学校法人 国際共立学園 国際理容美容専門学校
住所	東京都荒川区東日暮里 5-17-12
TEL	03-3803-6696
面談者	鈴木政信校長代理ほか 1名
学校の種別	理容美容専門学校
所属団体	日本エステティック協会 (CIDESCO 国際認定校)

■エステティシャン養成コースについて

ビジネス美容科では、CIDESCO 国際免許（世界 33 カ国共通ライセンス）を取得するための全日制 2 年間（必須専門科目 1470 時間）の教育を実施している。

■定員および入学資格

定員 80 名。高卒以上の女子に限る。

■教育カリキュラム（エステティック関連抜粋）

【必須専門科目理論＝時間】

- ・ 関連法規、制度 15 時間
- ・ 衛生管理 30 時間
- ・ 生理解剖 30 時間
- ・ 大脳生理学 30 時間
- ・ 皮膚科学 45 時間
- ・ 美容経絡概論 30 時間
- ・ 美容電気学 15 時間
- ・ 化粧品に関する商品知識 15 時間
- ・ 化粧品の製法と実験 30 時間
- ・ 高度ビジネス美容技術理論 30 時間

【必須専門科目技術＝1200 時間】

- ・ 高度ビジネス美容実習（フェイスマッサージ、メイク、マニキュア、ネイル、脱毛、総合技術） 1200 時間

【選択必修専門科目技術＝45 時間】

- ・ 栄養学 30 時間
- ・ 美容カウンセリング 15 時間

【その他＝48 時間】

- ・ 来客実習
- ・ サロン実習
- ・ 課外授業選択科目（タラソテラピー海外研修ツアーor タラソテラピー国内研修） 18 時間

■使用教材

社団法人理美容教育センターテキスト、日本エステティック協会発行の標準エステティック学4巻。

■取得単位数

2年間で2100単位。

■指導者（講師）

医師、栄養士等の国家資格保持者及び研究者、CIDESCO 認定インターナショナルエステティシャンほか。

■養成の目標

CIDESCO 国際免許（シデスコインターナショナルエステティシャン）の資格取得試験合格を目的とした人材の養成。

■エステティシャン養成にかかわる設備

校舎が3つの建物に分かれており、エステティシャン養成施設は独立した校舎になっている。エステティック専用の校舎では、理美容の教育は一切せず、不衛生な環境の原因となるカットなどによる落ち毛等を排除した使用を徹底している。理論教室のほかにフェイシャルルーム、ボディルームの実習室（フェイシャル用機器、ボディ用機器、ベッド、消毒器、保管棚等が配置）がある。また1階には、実習教育用のエステティックサロンがある。

■その他

理容美容専門学校の運営するエステティシャン養成施設だが、理容師、美容師資格取得を目的とした他の理容美容専門学校とは違い、卒業しても理美容師の資格試験は受けられない。任意団体のエステティシャン資格取得を目的とした2年生の教育を導入している。ただし、保健衛生については、理美容師と同様のテキストを使用することで基礎教育の充実を図っている。また、校内の掃除は生徒に実施させるなど、衛生的な環境作りの大切さも指導している。

卒業前には、近隣に住む消費者をお客に、基本的なフェイシャル技術の実習(必ず教員が立ち会う)も行っている。

訪問先	学校法人 古武学園 高津理容美容専門学校
住所	大阪市中央区日本橋2-15-26
TEL	06-6633-7474
面談者	重岡龍雄教育事業部長ほか1名
学校の種別	理容美容専門学校
所属団体	日本エステティック協会 (CIDESCO 国際認定校)

■エステティシャン養成コースについて

美容科の中に国際エステティシャンコースがある。CIDESCO 国際免許（世界 33 カ国共通ライセンス）を取得するための全日制 2 年間（1200 時間）の教育を実施している。

■定員および入学資格

定員 50 名。高卒以上の女子に限る。

■教育カリキュラム

日本エステティック協会認定校として、定められたカリキュラムに則った教育（2 年間 1200 時間）が実施されている。

その他に、海外研修、来客実習(サロン実習)が組まれている。

■使用教材

社団法人理美容教育センターテキスト、日本エステティック協会発行の標準エステティック学 4 巻。

■取得単位数

2 年間で 1200 単位。

■指導者（講師）

栄養士等の国家資格保持者、CIDESCO 認定インターナショナルエステティシャンほか。

■養成の目標

CIDESCO 国際免許（シデスコインターナショナルエステティシャン）の資格取得試験合格を目的とした人材の養成。

■エステティシャン養成にかかわる設備

エステティシャン養成のための国際エステティシャンコースがある校舎には、理論教室のほかに実習ルームがある。また、実践教育を行う場として、エステティックサロン・ピュアがあり、担当教員の監視のもと一般客を対象に有料(美顔、ボディオイルトリートメント)で施術を提供している。

■その他

理容師、美容師資格取得を目的とした学校であるが、取得できるその他の資格として任意団体のエステティシャン資格取得を目的とした 2 年生の教育を導入している。教育のベースは、理美容師試験合格のためのものであるが、専門教育として日本エステティック協会のテキストを使用している。

訪問先	関西ビューティ・プロフェッショナルスクール
住所	大阪市中央区天満橋京町2-17-7F
TEL	06-6942-1918
面談者	雨積郁枝校長ほか1名
学校の種別	理容美容専門学校
所属団体	日本エステティック協会 (CIDESCO 国際認定校)

■エステティシャン養成コースについて

エステティック学科では、CIDESCO 国際免許（世界 33 カ国共通ライセンス）を取得するための全日制 1 年間（1200 時間）の教育を実施している。

■定員および入学資格

定員 70 名。中卒以上、17 歳以上の女子に限る。

■教育カリキュラム

【理論＝600 時間】

- ・エステティック概論
- ・皮膚科学
- ・生理解剖学
- ・大脳生理学
- ・化粧品学
- ・美容電気学
- ・栄養学
- ・経営学
- ・衛生法規、消毒
- ・脱毛理論
- ・色彩学
- ・接客マナー
- ・カウンセリング
- ・色彩造形
- ・アロマセラピー

【実習＝600 時間】

- ・フェイシャル
- ・ハンドテクニック
- ・機器
- ・ボディ
- ・メイクアップ
- ・ネイル
- ・サロンテクニック

- ・脱毛
- ・サロン研修
- ・接客作法
- ・アロマセラピー
- ・CIDESCO 受験テクニック

■使用教材

日本エステティック協会発行の標準エステティック学4巻。

■取得単位数

1年間で1200単位。

■指導者（講師）

CIDESCO 認定インターナショナルエステティシャンほか。

■養成の目標

CIDESCO 国際免許（シデスコインターナショナルエステティシャン）の資格取得試験合格を目的とした人材の養成。

■エステティシャン養成にかかわる設備

理論教室のほかに実習室（フェイシャル用機器、ボディ用機器、ベッド、消毒器、保管棚等が配置）がある。また、実習教育用の直営エステティックサロンがある。

■その他

卒業前には、CIDESCO 受験対策として、筆記、実技の試験を実施。資格制度のない現状については、養成施設での教育内容とサロン現場でのギャップが起こっている。養成施設では、あくまでもリラクゼーションの提供を中心としたハンドテクニックの修得がメインである。

訪問先	ミス・パリ エステティックスクール大阪校
住所	大阪市北区野崎町1-3
TEL	06-6942-1918
面談者	倉田昭子チーフインストラクター
学校の種別	大手エステティックサロン直営スクール
所属団体	日本エステティック協会（認定校）

■エステティシャン養成コースについて

エステティシャン総合コース。日本エステティック協会認定の全日制1年間（1000時間）の教育を実施している。

■定員および入学資格

定員20名。高卒以上の女子に限る。

■教育カリキュラム

【理論＝300時間】

- ・エステティック概論
- ・皮膚科学
- ・生理解剖学
- ・大脳生理学
- ・化粧品学
- ・美容電気学
- ・栄養学
- ・職業倫理、サロン経営学
- ・衛生法規、消毒
- ・脱毛理論
- ・美学、造形、色彩
- ・接客マナー
- ・カウンセリング
- ・その他実技理論

【実習＝700時間】

- ・フェイシャルテクニク
- ・ボディハンド
- ・脱毛(ワックス)
- ・ネイルケア
- ・メイクアップ
- ・カウンセリング
- ・美容電気脱毛
- ・サロン実習

■使用教材

日本エステティック協会発行の標準エステティック学4巻。

■取得単位数

1年間で1000単位。

■指導者（講師）

教員免許取得者、栄養士、CIDESCO 認定インターナショナルエステティシャンほか。

■養成の目標

日本エステティック協会認定エステティシャン資格取得を目的とした人材の養成。

■エステティシャン養成にかかわる設備

理論教室のほかに実習室（フェイシャル用機器、ボディ用機器、ベッド、消毒器、保管棚等が配置）がある。

■その他

昨年まで3ヶ月(300時間)コースでエステティシャン養成を行ってきたが、3ヶ月間では教えきれず、レベルアップを図る意味で1年間(1000時間)を導入。しかし、1000時間でも満足のいく教育ができず、最低でも1200時間以上の教育カリキュラム導入を考えている。また、専門分野の教育に関しては、特別講座を設けるなどして、外部講師(医師等)の活用を模索している。

訪問先	国際フランス・エステティック学院東京校
住所	東京都港区北青山2-14-6 青山ベルコモンズ 11F
TEL	03-5770-6664
面談者	大沼三三恵チーフインストラクターほか1名
学校の種別	大手エステティックサロン直営スクール
所属団体	国際試験機構(ICAM 認定校)、日本エステティック業協会(推薦校)

■エステティシャン養成コースについて

トータルビューティコーディネーター本科。全日制の1年間。

■定員および入学資格

定員 30名。高卒以上の女子に限る。

■教育カリキュラム

【理論】

- ・エステティック概論
- ・美容皮膚科学
- ・解剖生理学
- ・化粧品学
- ・栄養学
- ・肥満学
- ・電気美容学
- ・栄養学
- ・衛生法規、消毒
- ・関連法規
- ・脱毛理論
- ・美容心理学、ストレス学
- ・カウンセリング
- ・東洋医学
- ・その他実技理論

【実習】

- ・フェイシャルトリートメント
- ・ボディトリートメント
- ・脱毛(ワックス)
- ・リフレクソロジー
- ・タラソセラピー
- ・リンパドレナージュ
- ・マナー

■使用教材

国際試験機校のカリキュラムに沿ったオリジナル教材。

■取得単位数

1年間。

■指導者（講師）

医師、研究者、専任のエステティシャンほか。必要に応じてフランスから試験官が来日する。

■養成の目標

ICAM 認定エステティシャン資格の取得。

■エステティシャン養成にかかわる設備

理論教室のほかに実習室（フェイシャル用機器、ボディ用機器、ベッド、消毒器、保管棚等が配置）がある。

■その他

生徒は、一般女性のほかに直営サロンのスタッフ。卒業前には、フランスのカリキュラムに準じた試験を実施。不合格者には、補習、追試験を実施。あくまでも実践的な知識、技術の修得にウエイトを置いている。

年一回、サロン実習(直営店)、老人ホームでフェイシャルのボランティアを義務付けている。

訪問先	日本脱毛技術学院神戸校
住所	兵庫県神戸市中央区北長狭通4-9-26
TEL	078-391-2022
面談者	中西正興学院長ほか1名
学校の種別	美容電気脱毛団体の認定校
所属団体	日本脱毛技術研究学会

■エステティシャン養成コースについて

普通過程（基礎コース）分割式の5か月、合計18日間。

■定員および入学資格

定員15名。特に設けていないが、サロン現場で働いているエステティシャンがほとんど。

■教育カリキュラム

【分割Ⅰ／3日間】

・美容脱毛の基礎・電気学・電気分解法理論・施術実習

【分割Ⅱ／4日間】

・電気分解法理論・熱解離法理論・混成法理論・施術実習

【分割Ⅲ／4日間】

・混成理論法・特定場所の施術・皮膚毛髪学・内分泌学・施術実習

【分割Ⅳ／4日間】

・内分泌学・脈管学・神経学・微生物学・消毒学、皮膚科学・施術実習

【分割Ⅴ／3日間】

・カウンセリング ケースヒストリー ・実務のすすめ・終了試験（理論、実技）

■使用教材

美容脱毛学（アーサー・R・ヒンケル著 米国）

■指導者（講師）

医師、研究者、学会認定の専任講師。

■養成の目標

米国で発行する任意の認定電気脱毛士資格（CRE）取得。

■エステティシャン養成にかかわる設備

理論教室と実習室が兼用（ボディ用ベッド、電気脱毛器、消毒器、保管棚等が配置）。

■その他

通常のエステティシャン養成施設とは違って、エステティックサロンですすでに働いている技術者に対して、美容電気脱毛の基礎から教えている。フェイシャルケアやボディケアとは棲み分けされた、専門分野（電気脱毛士）として電気脱毛を位置づけているため、他の教育は一切行っていない。年2回行っている試験（理論・実技）では、実技よりも理論試験が難しく、合格率は約1割程度。技術は大切だが、理論を覚えることをおろそかにしている傾向がエステティシャンに強いと指摘。また適正な技術は、理論に裏打ちされてこそ安全性が確保できると強調していた。

日本エステティック協会 認定校一覧

No.	認 定 校 名
●	化粧品及び機器メーカー系
1	愛雅粧エステティック専門学院
2	アルソア LS アカデミー
3	エコール エステペール (大阪校)
4	〃 (東京校)
5	オープン エステティックアカデミー
6	カネボウ トータルビューティアカデミー(東京校)
7	〃 (横浜校)
8	カリタ エステティックスクール
9	クオレ エステティックスクール
10	資生堂美容技術専門学校
11	セブンツーセブン ビューティアカデミー
12	タカラ・インターナショナルエステティックカレッジ (東京校)
13	タカラ・インターナショナルエステティックカレッジ (仙台校)
14	〃 (名古屋校)
15	〃 (大阪校)
16	〃 (金沢校)
17	〃 (福岡校)
18	滝川エステティック学院 (東京本校)
19	〃 (札幌校)
20	〃 (名古屋校)
21	〃 (大阪校)
22	〃 (福岡校)
23	ナリス エステティックスクール (大阪校)
24	〃 (東京校)
25	ピアセラボ エステティックアカデミー (大阪校)
26	〃 (東京校)
27	メナード ビューティアカデミー
28	ヤマノ クレスティアカデミー (東京校)
29	〃 (大阪校)
30	ポーラ エステティックスクール